

【資料2】地方創生推進交付金の活用状況について

1-1. 概要

- 平成28年度に創設された地方創生推進交付金を活用し、下記事業を実施してきました。
・成田空港南側圏グローバル人材育成事業(採択時期:平成28年度第1回、計画期間(5か年):平成28年度から令和2年度)
- 令和2年度の交付金活用状況は、次のとおりとなります。
・成田空港南側圏グローバル人材育成事業 令和2年度交付対象事業額: 30,283千円(4市町内山武市分)
※交付対象事業費の総額 30,283千円のうち、交付決定額15,141千円(補助率1/2)となっています。
その他財政措置は、普通交付税1/4、特別交付税1/4となっています。

1-2. 成田空港南側圏グローバル人材育成事業

- 概要:
将来的には小中学校の統廃合により発生する遊休施設を活用し、航空人材を育成できる学校の誘致を視野に、成田空港に隣接する地域性を活かしながらグローバル化の機運を高めることで、航空・エアラインビジネス業界への就業の流れを強化し、「魅力的なしごと」に就ける若者増加による定住促進を目指すとともに、及び航空志望者を含めた若者移住を目指すもの。
○計画事業費(5年間):177,539千円(4市町内山武市分)
○地域間連携自治体:山武市、芝山町、横芝光町、多古町

1-3. 重要業績評価指標(KPI)

| 重要業績評価指標(KPI) | | 事業開始前 | 2016年度 | 2017年度 | 2018年度 | 2019年度 | 2020年度 | 備考 |
|---------------|---|-------|--------|------------|------------|------------|-------------|--------------------------------------|
| ① | 高校及び高等教育機関卒業後に、成田空港関連会社等に就職し、4市町に住み続けながら通勤する人数(人) | 目標値 | 0 | 15 | 30 | 50 | - | 公営塾事業等参加者へのヒアリングは、追跡調査の協力が得られず、計測不能。 |
| | | 実績値 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| ② | 高校生等のキャリア形成プログラムへの参加者数(人) | 目標値 | 0 | 200 | 300 | 320 | 340 | 2019年度からは対象者を小学生、中学生及び高校生に拡大。 |
| | | 実績値 | 0 | <u>379</u> | 295 | <u>450</u> | <u>477</u> | |
| ③ | 教育・スポーツ等の推進に関わる住民参加人数(人) | 目標値 | 0 | 20 | 30 | 45 | 60 | 75 |
| | | 実績値 | 0 | 10 | <u>120</u> | <u>157</u> | <u>145</u> | |
| ④ | 成田空港関連会社等の地元企業に関心を持った小中学生の割合(%) | 目標値 | 0 | - | - | - | 35.0 | KPI①を補完するため、2019年度から設定。 |
| | | 実績値 | 0 | - | - | - | <u>36.4</u> | |

※実績値が目標値を上回ったものは下線を記しています。

2. 事務事業の概要(R02年度・実績)

| 通番 | 事務事業名 | 事業概要 | 計画額(単位:円) | | 実績額(単位:円) | | 備考 |
|---------------------------------|------------------------------|--|------------|-----------|------------|-----------|----|
| | | | 事業費 | うち、交付金 | 事業費 | うち、交付金 | |
| ①航空人材養成のための学校誘致環境整備に係る経費 | | | | | | | |
| 1 | 就業環境改善推進事業[1943] | 地方創生の一環として、若年層の定住促進に資する各種調査等を実施し、地域企業の就業環境改善に係る取組を推進する事業です。 | 1,000,000 | 500,000 | 938,300 | 469,150 | |
| 2 | 身近な公共交通確保事業[102] | 地方創生の観点において、成田空港への通勤通学利便性の向上を図るため、現状の公共交通の利用実績及びアンケート等を踏まえた、新たな交通計画をもとに、実証実験を行う事業です。 | 16,297,000 | 8,148,500 | 16,296,296 | 8,148,148 | |
| 3 | 移住定住促進事業[1947] | 県内大学生等に対して、成田空港立地企業をはじめ地域企業の「魅力的なしごと」への理解を促進することで、航空業界等に関心のある若者層の移住機運の醸成を行う事業です。 | 2,000,000 | 1,000,000 | 1,832,480 | 916,240 | |
| 計 | | | 19,297,000 | 9,648,500 | 19,067,076 | 9,533,538 | |
| 通番 | 事務事業名 | 事業概要 | 計画額(単位:円) | | 実績額(単位:円) | | 備考 |
| | | | 事業費 | うち、交付金 | 事業費 | うち、交付金 | |
| ②グローバルキャリア教育の実施に係る経費 | | | | | | | |
| 4 | 松尾公民館公営塾運営事業[1910] | 平成27年度文部科学省のスーパーグローバルハイスクール指定を受けた県立松尾高校の魅力化に資する取組として、松尾公民館にぎわい処スペースにおいて、生徒が主体的、探究的な学び場を設置運営する事業です。 | 956,000 | 478,000 | 844,426 | 422,213 | |
| 5 | 地域人材活用教育支援プラットフォーム形成事業[1913] | NPO法人教育サポートGAAIにおいて、子どもたちとシニア世代の相互連携による教えあい、学びあいの場を構築することにより、グローバル人材の育成を推進する事業です。 | 8,085,000 | 4,042,500 | 8,042,359 | 4,021,180 | |
| 計 | | | 9,041,000 | 4,520,500 | 8,886,785 | 4,443,393 | |

| 通番 | 事務事業名 | 事業概要 | 計画額(単位:円) | | 実績額(単位:円) | | 備考 |
|-----------------------------------|------------------------------|--|------------|------------|------------|------------|--|
| | | | 事業費 | うち、交付金 | 事業費 | うち、交付金 | |
| ③東京オリンピック・パラリンピック関連事業に係る経費 | | | | | | | |
| 6 | トップアスリートスポーツ教室事業[1864] | 一流選手から直接指導を受けることにより、スポーツに対する関心を高めるとともに体力、技術の向上を図るため、トップアスリートによるスポーツ教室を開催する事業です。 | 68,000 | 34,000 | 0 | 0 | 事業実施を12月に想定していたが、新型コロナウイルス感染拡大により実施困難となったため未執行 |
| 7 | ポッチャ大会開催事業[1865] | パラリンピック競技種目のポッチャ大会を開催し、周知、普及活動を行う事業です。 | 182,000 | 91,000 | 120,000 | 60,000 | |
| 8 | 障がい者スポーツ選手等講演会開催事業[1853] | 身体の障害のあるなしにかかわらず多様なつながりの意識が醸成されることを目的とし、障がい者スポーツ選手等の講演会等を行う事業です。 | 115,000 | 57,500 | 82,469 | 41,234 | |
| 9 | 障がい者スポーツ審判資格等取得事業[1854] | 世代間や身体の障害のあるなしに関わらず交流や地域の繋がりを生み出すことを目的に、障がい者スポーツに係る指導者・審判員及びボランティアスタッフを養成することで、障がい者スポーツ交流を実施する事業です。 | 50,000 | 25,000 | 0 | 0 | 新型コロナウイルスの感染拡大により実施困難となったため未実施 |
| 10 | 一校一國運動事業[1856] | 市内小中学校が、学校ごとに応援する国を決め、文化や言語を学んだりその国の人々と交流することなどにより異文化への理解を深める事業です。 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 11 | 東京オリンピック・パラリンピック戦略推進事業[1815] | 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の機運を高めるため、啓発に係るピンバッチ作成に係る経費について計上を行っている事業です。 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 12 | 事前キャンプ実施事業[2072] | 東京2020大会において、スリランカ選手団が持てる力の限りを発揮できるコンディションを整えます。また、市民とスリランカ選手団の交流を通じ、青少年スポーツ・障がい者スポーツの振興及びグローバル化を図る事業です。 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 13 | スリランカ青少年招へい事業[1859] | 両国の中学生が交流することにより、日本・スリランカ両国の理解を深めるとともに日本の文化やスポーツなどの異文化に触れることを通じて、国際感覚を身に付けた人材の育成を行う事業です。 | 0 | 0 | 0 | 0 | |
| 14 | さんむグローバルセンター運営事業[1896] | 国際交流活動・在住外国人生活支援・相互理解、また、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けた事業、次世代に継承する事業等の活動を展開することを目的とした、組織づくりを支援する事業です。 | 1,530,000 | 765,000 | 572,880 | 286,440 | 新型コロナウイルス感染拡大により事業規模が縮小し、自主財源内で事業を実施できたことにより、国際交流支援センター運営支援補助金は未執行 |
| 計 | | | 1,945,000 | 972,500 | 775,349 | 387,674 | |
| 合計 | | | 30,283,000 | 15,141,500 | 28,729,210 | 14,364,605 | |